

示現会写生研修会・報告

5月9日（土）10日（日）
千葉県銚子 犬吠埼灯台

関東最東端の銚子の犬吠埼は、昔から旅人、そして画人の心をひきつけてやまない魅力あるところです。岬の先端にある灯台を多くの画家たちが主題として扱い名作を残しています。

示現会の研究会は、春の写生研修会、夏の示現会会館を使つての夏期講習会、そして作品研究会として、今年度は7月から5回開催されます。今回開催された春の研究会となる写生会は和歌山、兵庫など、各地から43名の参加があり、犬吠埼を正面に見る「ホテル ニュー大新」を会場にして開催されました。好天に恵まれた2日間になり、太平洋の荒波のなか白く輝きながら立つ灯台を中心に波に揉まれる岩や海岸の様子にキャンバスを広げ筆を走らせました。

6時からの懇親会では、担当する佐藤理事による開会の言葉のあと、研修主任の渡邊委員から報告があり、続いて今回の写生会を担当した、北島、中井、倉本委員などの紹介がありました。

成田常務理事からの御挨拶で今年も示現会展が大盛況の中で終了したことの報告があり、大きな拍手がわきました。続いて井上常務理事よる乾杯の音頭で懇親会がにぎやかに始まりました。深津委員の司会で懇親会は進み、参加者の紹介が行われ、時間が十分取れなかったのですが、全員が自己紹介をして懇親を深めました。

一度懇親会を終了し、続けて金委員の司会による2次会に入ります。差し入れの銘酒などを楽しみながら、話が弾みました。

10日の作品の研究会は安藤、土田委員を中心に前日から準備を整え、7時から始まりました。講師として参加いただきました、成田、井上先生から現場で描くことの大切さや、構図の取り方、朝夕の微妙に変化する色の見つけ方などを教えていただきました。2、3日前から現場に入り、取り組んだ力作や、水彩なども含め、一人一人の作品に懇切丁寧な指導がありました。

研究会の後、朝食、そして全員でホテルの屋上に上がり、記念写真を撮り解散いたしました。

来年も皆さん方の参加をお待ち申し上げます。





思い、思いの場所でキャンバスに向かう、参加者の皆さん



写生会の講師として成田先生、井上先生に一人一人の作品を丁寧に見ていただきました。



成田先生のごあいさつで、懇親会が始まりました。皆さん美味しい料理、お酒を楽しみました。

ホテルの屋上で、講師の先生を囲み、参加者全員で集合写真を撮りました。



写生研修会参加者

講師：常務理事 成田禎介先生・井上 武先生
理事 佐藤祐治（写生会担当）

支部長：山形県支部長 武田敏雄先生 長野県支部長 保坂良郎先生
福岡県支部長 瀧井利子先生

委員：渡辺良一（研修責任者） 安藤義男 金正明 北島裕子 深津美南子 中井悦子
土田恒夫 倉本建夫（以上研修係）
遠山 厚史・百瀬太虚・栗又功雄

会員：28名 準会員：9名 会友：2名 一般：4名 合計：43名